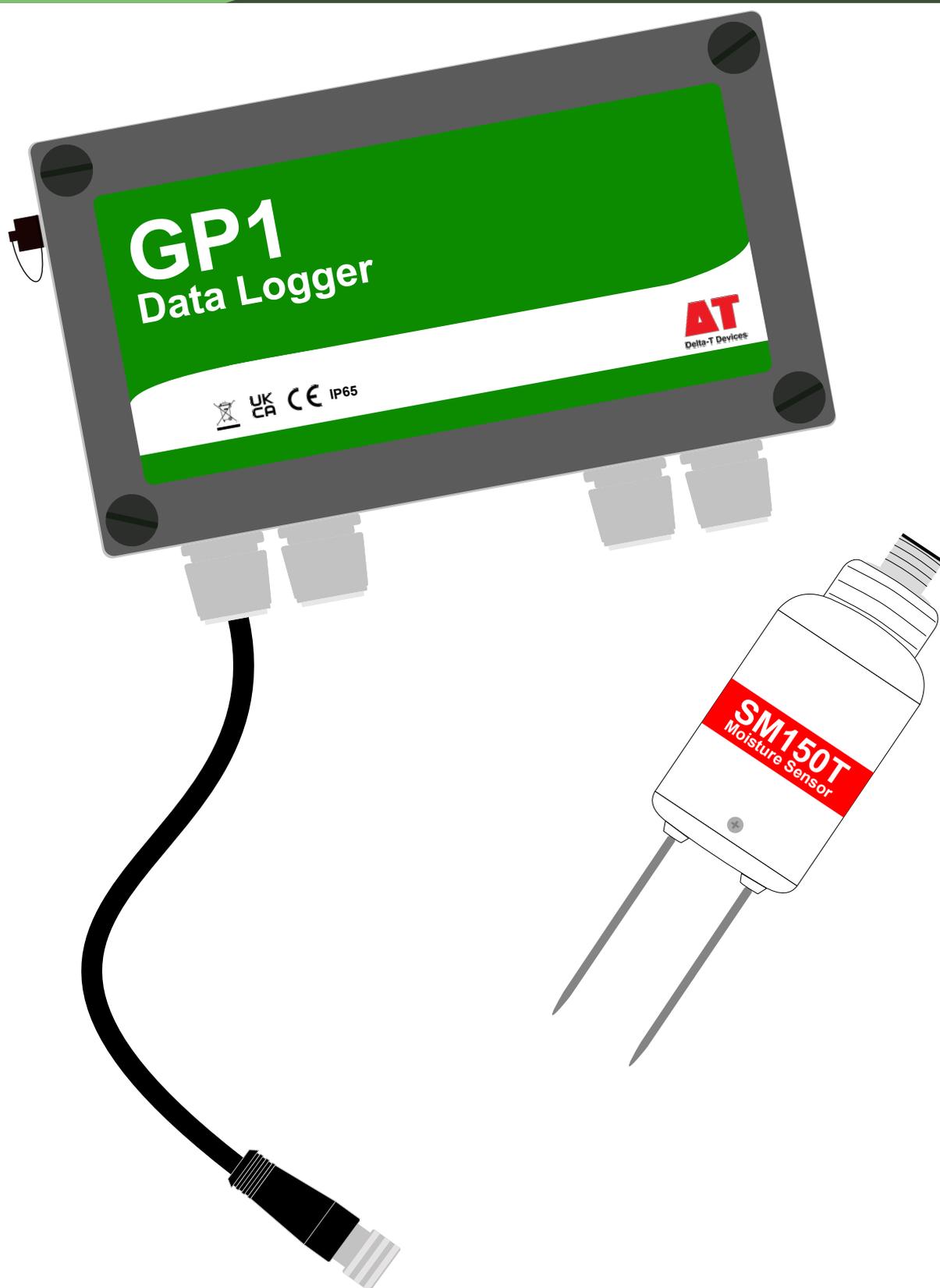


# GP1 Data Logger Quick Start Guide

本マニュアルではGP1とSM150Tの組み合わせを説明致しております。



Environmental Measurement Japan

日本環境計測株式会社

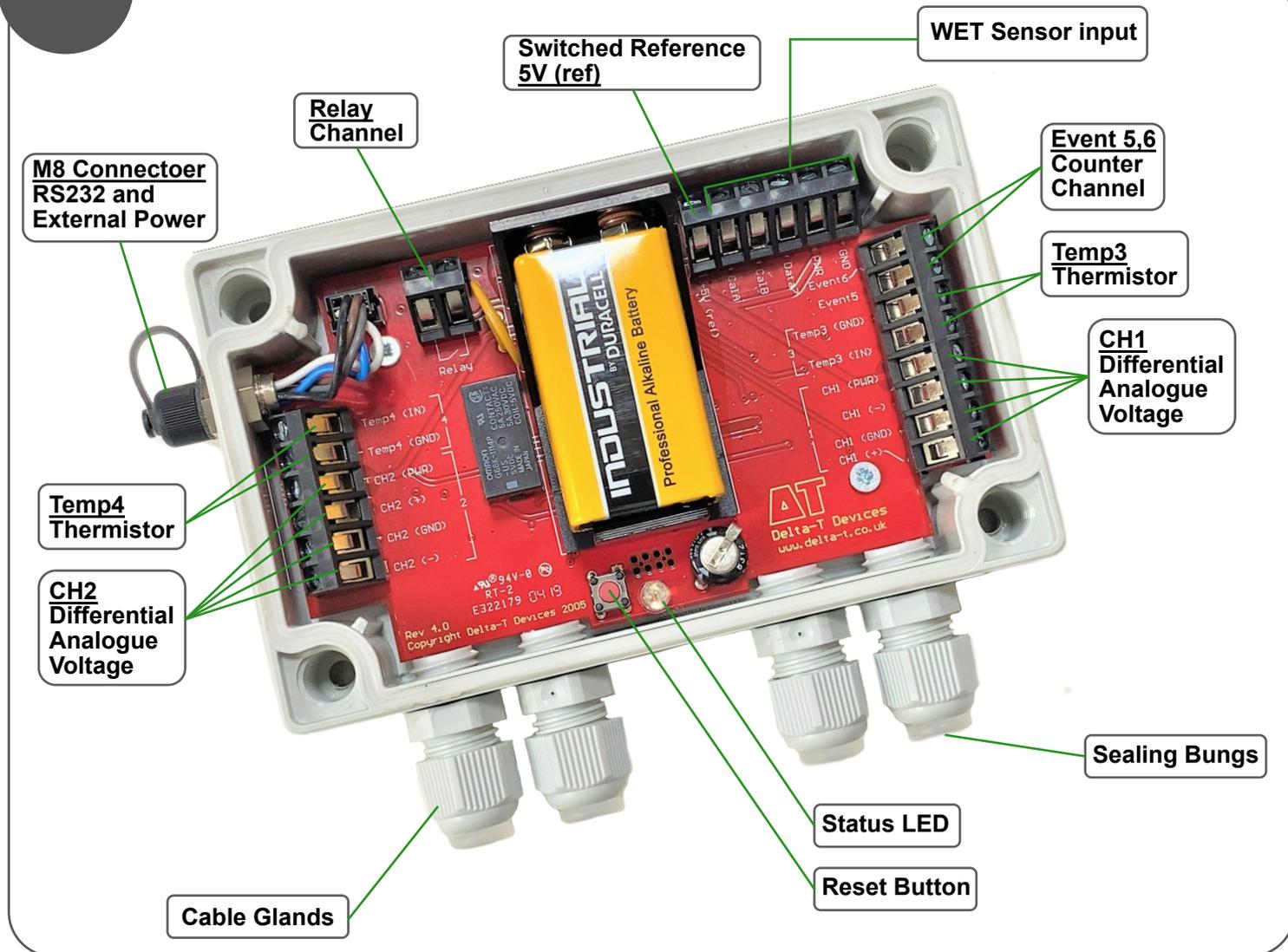
〒811-0215

福岡県福岡市東区高美台二丁目52番42号

TEL:092-608-6412 FAX:092-985-7844

# Overview and Contents

## Overview



## Contents

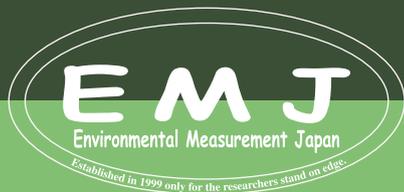


・GP1データロガー



・シリアルケーブル

- ・GP1クイックスタートガイド
- ・マイナスインプライバー
- ・Software(DVD)は同封されません (Delta-T Webにてダウンロード)



Environmental Measurement Japan  
 日本環境計測株式会社  
 〒811-0215  
 福岡県福岡市東区高美台二丁目52番42号  
 TEL:092-608-6412 FAX:092-985-7844

# Wiring: Connecting two SM150T sensors

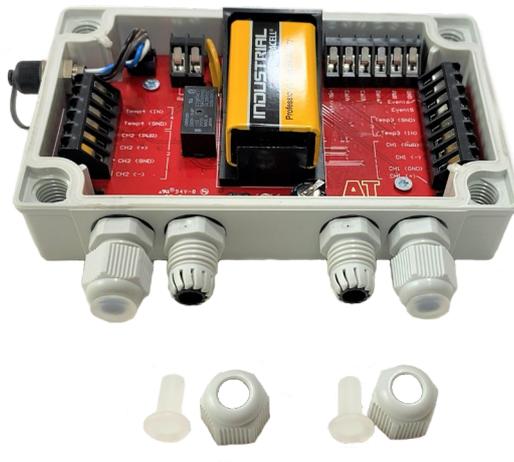
ユーザーにてケーブル接続をする方はこちらを参考にしてください。弊社にて配線設定を依頼された方はこのセクションはスキップして頂いても構いません。

1.



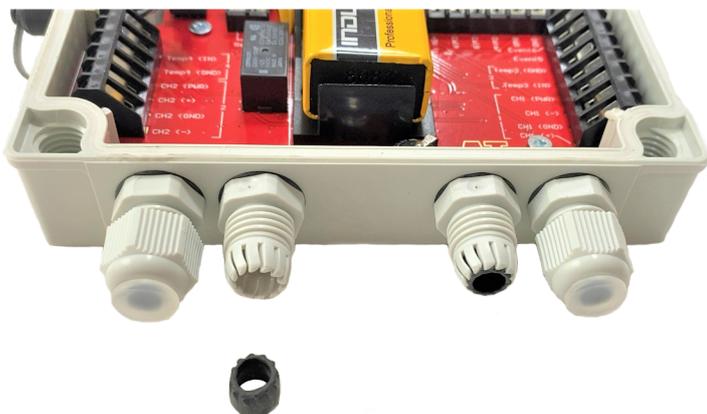
GP1にはケーブルグラントが4個あります。SM150Tを2本配線するために2個のケーブルグラントを使用します。

2.



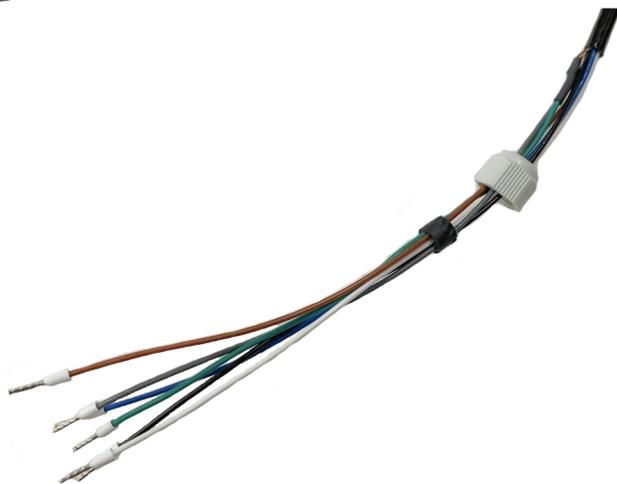
GP1の蓋を開けるとこのような感じです。2本のセンサーを接続する場合は内部スペースの関係上内側2個のケーブルグラントを使用することをお勧めします。

3.



ケーブルグラントのパッキンをマイナスドライバー等で優しく外します。ケーブルが太いため先にパッキンを外して直接ケーブルに通します。

4.

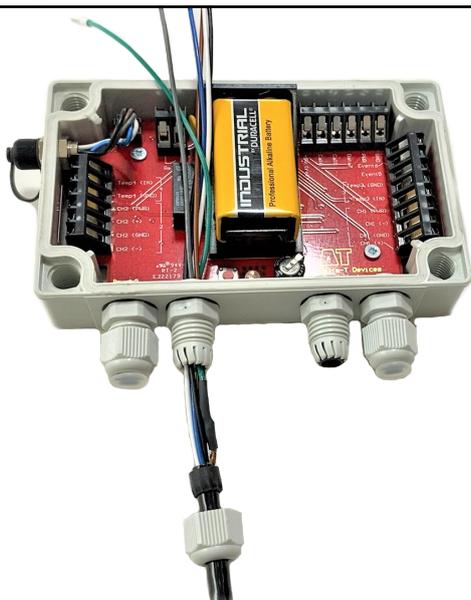


まず最初にケーブルグラントのキャップを先に通してパッキンを通します。

# Wiring: Connecting two SM150T sensors

ユーザーにてケーブル接続をする方はこちらを参考にしてください。弊社にて配線設定を依頼された方はこのセクションはスキップして頂いても構いません。

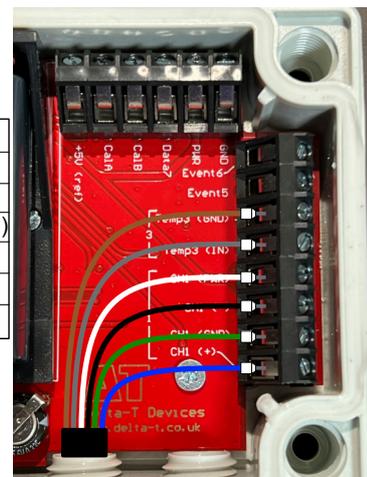
5.



Step4の状態です。最後にパッキンがケーブルグラントに確実に入っているか確認して下さい。ケーブルグラントのキャップを閉めワイヤーを指定のポートに接続して下さい。

6.

SMSC/LW-05 GP1 基盤	
青	CH1, CH2 (+)
黒	CH1, CH2 (-)
茶	Temp3, Temp4 (GND)
緑	CH1, CH2 (GND)
白	CH1, CH2 (PWR)
灰	Temp3, Temp4 (IN)



上記のように配線します。CH1, 2で端子台の配列が異なりますので、配列を確認しながら配線して下さい。

## Software Installation

1. 付属のUSB-シリアル変換ケーブルのドライバーをPCにインストールします。PCにCDドライブがない場合には外付けのドライブをご準備して下さい。(ドライバーをインストールしなくても使用できる場合は、この作業はスキップして下さい。)



USB変換機



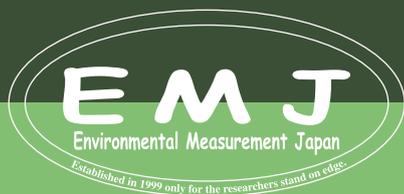
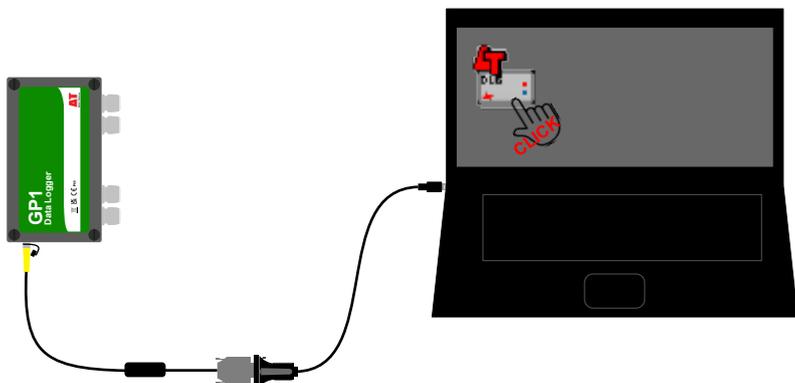
USB変換機ドライバー



2. Delta-T DeltaLINK Logger softwareを下記URLよりダウンロードして下さい。  
(<https://delta-t.co.uk/software/detalink/>)

[Download DeltaLINK Version#](#) - for Windows 7, Windows 8 and Windows 10をクリック。

3. 変換器のドライバーとソフトウェアのインストールが完了したら、GP1とPCを付属のシリアルケーブル+USB変換器を繋げてPCに差し込みます。デスクトップ上のDeltaLINKのアイコンをクリックします。

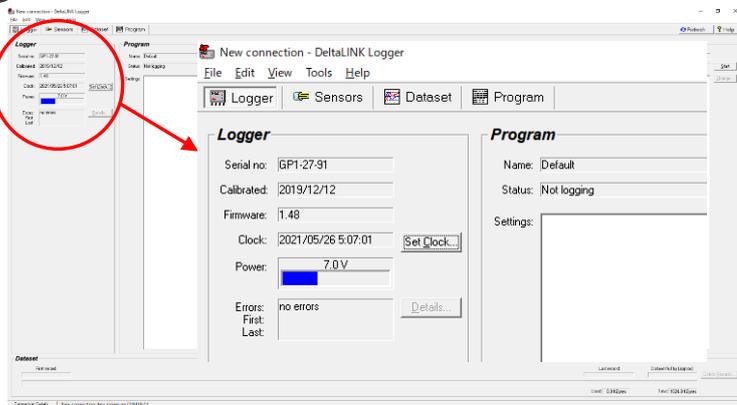


Environmental Measurement Japan  
日本環境計測株式会社

〒811-0215  
福岡県福岡市東区高美台二丁目52番42号  
TEL:092-608-6412 FAX:092-985-7844

# GP1 Program Setting: SM150T2本を接続設定の説明になります。(ML3も設定方法は同じです。)

1.



Delta LINKのアイコンをクリックすると右画面が表示されます。

表示(上から)

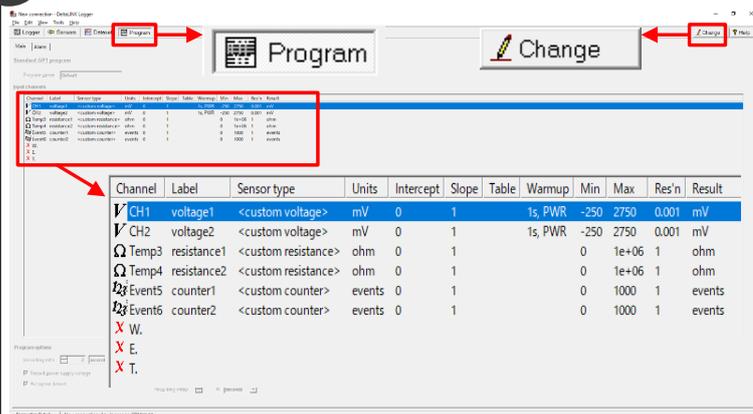
- Serial no: GP1シリアル番号
- Calibrated: 校正された日付
- Firmware: GP1のバージョン
- Clock: Set Clockで時刻設定
- Power: バッテリ残量
- Error: エラーメッセージBOX



GP1シリアル番号  
(電池ボックスに記載)

\* この画面にならないときにはトラブルシュートのページをご覧ください。

2.

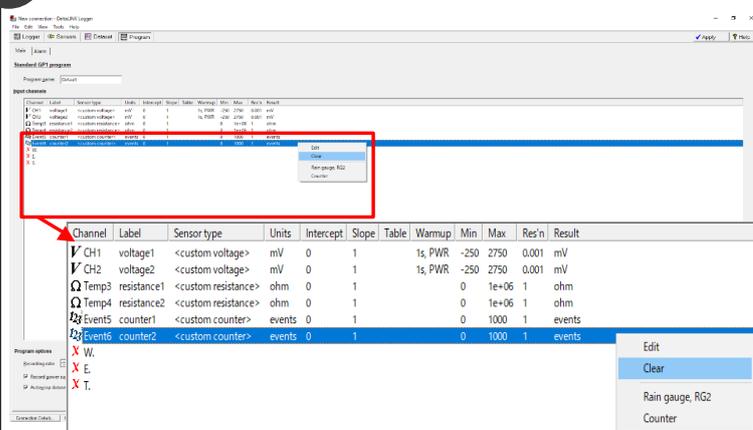


プログラム内容は、ユーザーにて設定の変更が可能です。変更する際に必ずプログラム設定を確認し任意で変更して下さい。

1. Programタブを選択

2. 右上のChangeを選択

3.



まず最初に必要のないプログラムを停止させます。SM150T(2台)を接続する場合EVNT5,6は必要ないので停止させます。

1. EVNT5、6を選択し右クリック

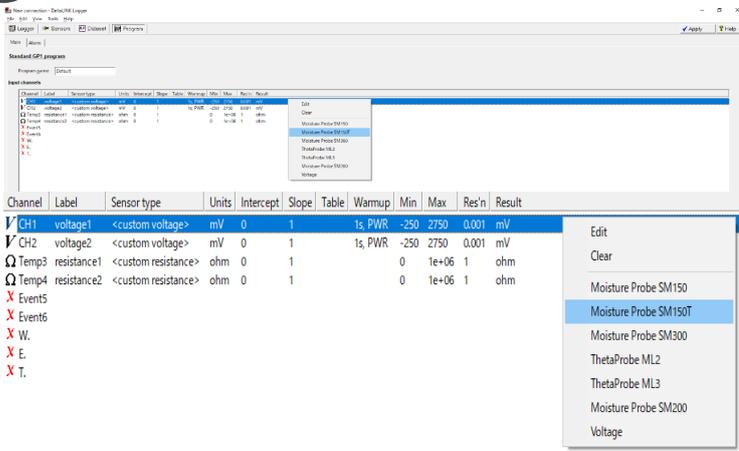
2. Clearを選択

3. 停止すると左のアイコンが変わります。🔌 → ✖

4. EVNT5、6両方とも停止させてください。

# GP1 Program Setting: SM150T2本を接続設定の説明になります。(ML3も設定方法は同じです。)

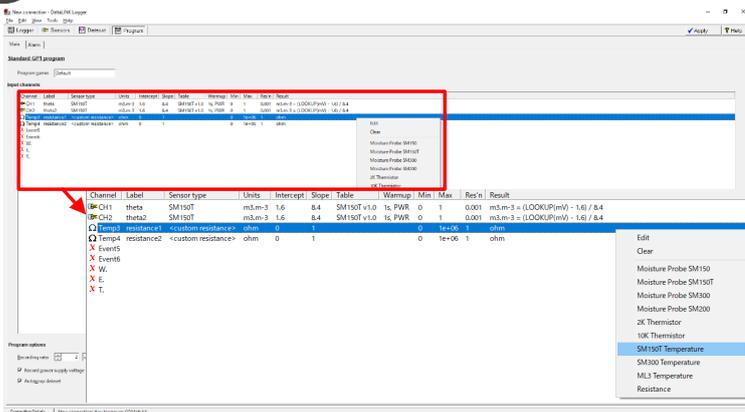
4.



接続したSM150Tを設定していきます。

1. CH1を選択して右クリック
2. Moisture Probe SM150Tを選択
3. 選択すると左のアイコンが変わります。
4. CH2も同様に設定します。  
(センサー2本接続している場合。)

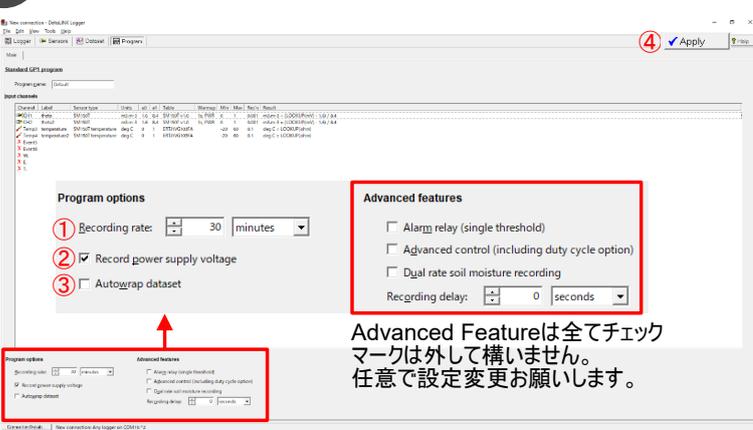
5.



SM150Tの温度計測を設定します。

1. Temp3を選択し右クリック
2. SM150T Temperatureを選択
3. 選択すると左のアイコンが変わります。
4. Temp4も同様に設定します。  
(センサー2本接続している場合。)

6.



インターバル、データ保存等の設定をします。

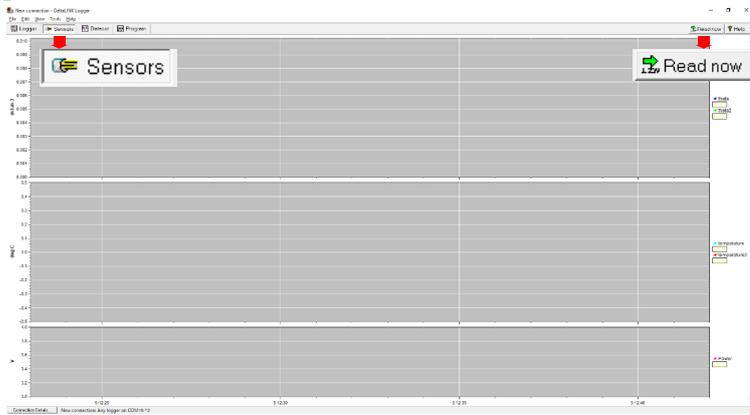
- ①インターバル
- ②電圧も一緒にデータとして保存
- ③データ保存(チェックマークを外すことをお勧めします。)
  - ・チェック有: データ容量限界時に最新のデータを上書き保存します。
  - ・チェック無: データ容量限界後の計測データは保存されません。
- ④最後に右上のApplyボタンをクリックして完了。



# GP1 Program Setting: SM150T2本を接続設定の説明になります。(ML3も設定方法は同じです。)

## Check before start measurement

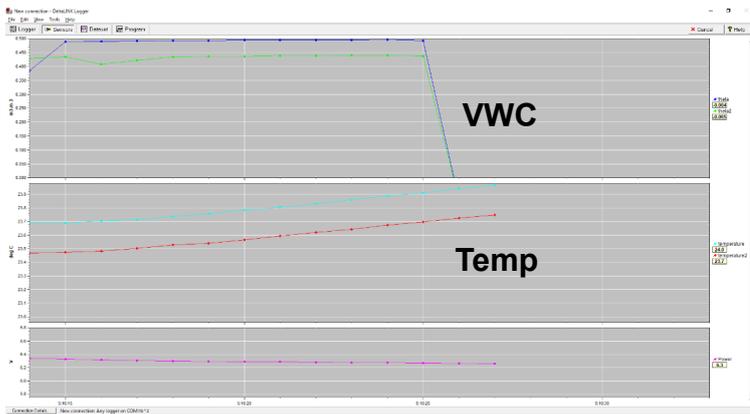
1.



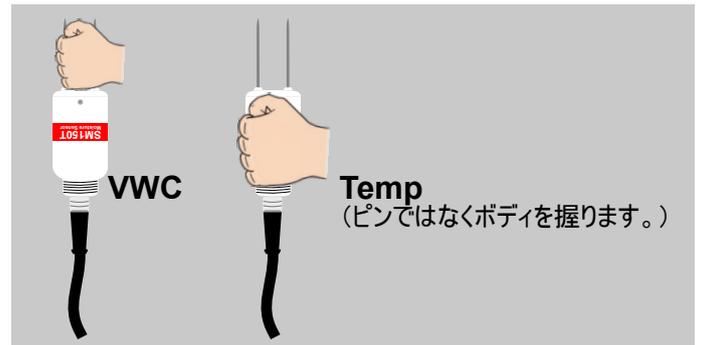
GP1とPCは繋いだ状態

1. センサー本体をケーブルに接続します。
2. Sensorタブを選択します。
3. Read nowボタンを選択します。

2.

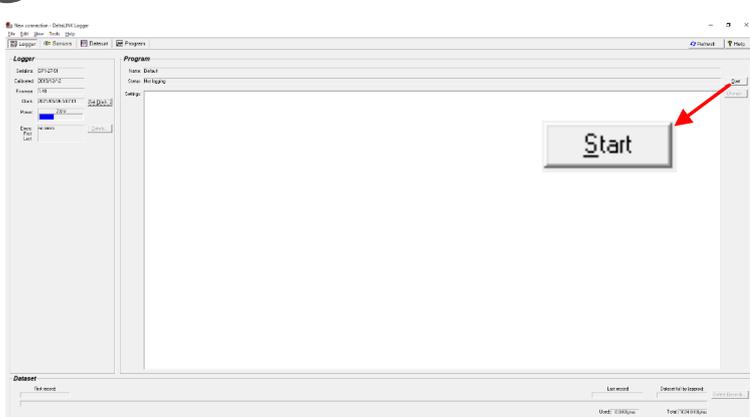


センサーのピンを握ったり放したりし反応をグラフで確認して下さい。これで動作確認は終了です。

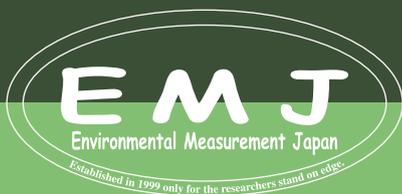


## Start measurement

1.



GP1本体に計測開始ボタンはありません。PCに繋いだ状態でStartをクリックし計測開始になります。計測開始になるとStartボタンがStopボタンに変わります。計測終了する際は、Stopボタンをクリックするだけです。



Environmental Measurement Japan

日本環境計測株式会社

〒811-0215

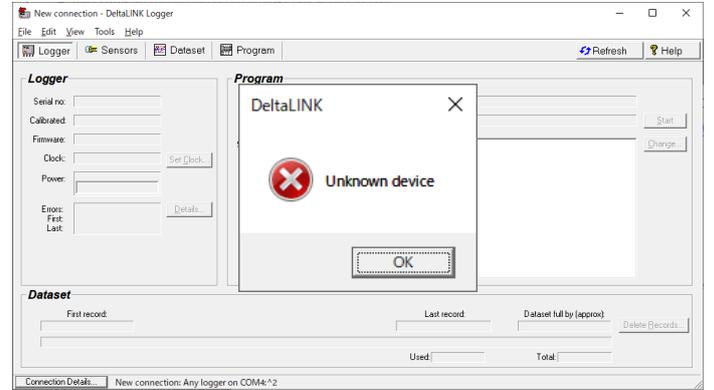
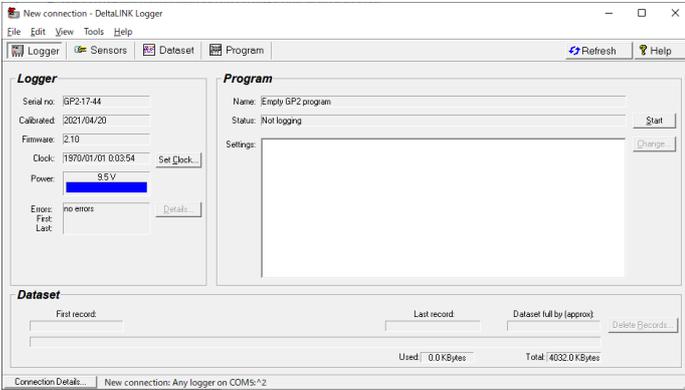
福岡県福岡市東区高美台二丁目52番42号

TEL:092-608-6412 FAX:092-985-7844

# Troubleshooting

GP1をPCに正常に接続してもPCが即座にGP1を認識する時と認識しない時があります。特に初めて接続時は困る事が多いです。

1.

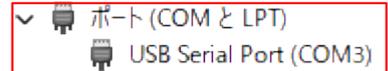


○ 認識した時：ステータスが表示されます。

✖ 認識しない時：Unknown deviceと表示されます。

②に進む前に確認！PCにシリアル変換ケーブルのドライバはインストールされていますか？新しくPCを買い替えたなどした場合は一度確認してみてください。確認方法は、以下の通りです。

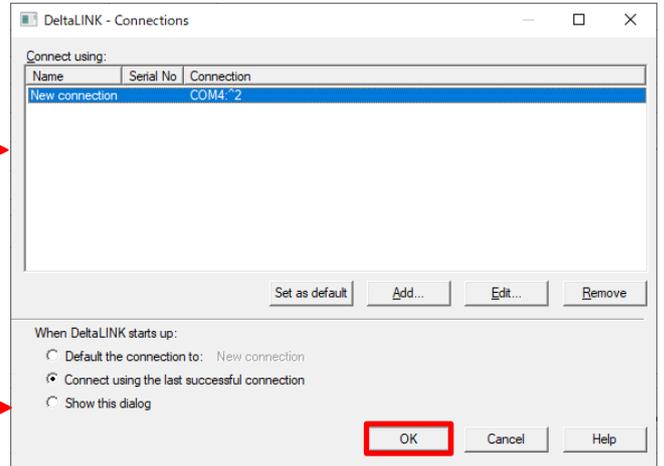
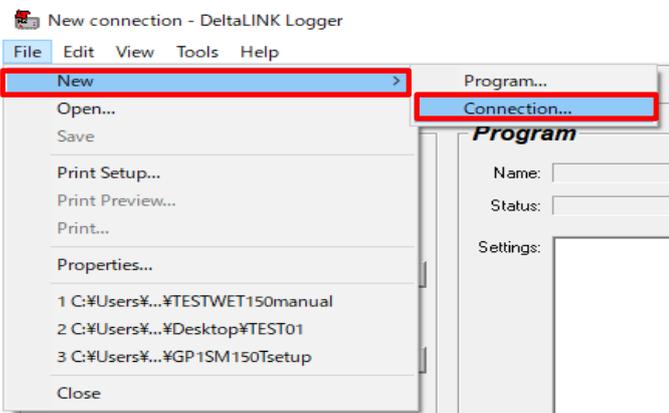
付属のシリアル変換ケーブルをPCに接続した状態で→コントロールパネル→デバイスマネージャー→ポート(COMとLPT)  
この時右のように認識されていればドライバはインストールされているので問題ありません。



2.

**Step1.**画面下のConnection Details...または上部Fileメニューからを選択します。

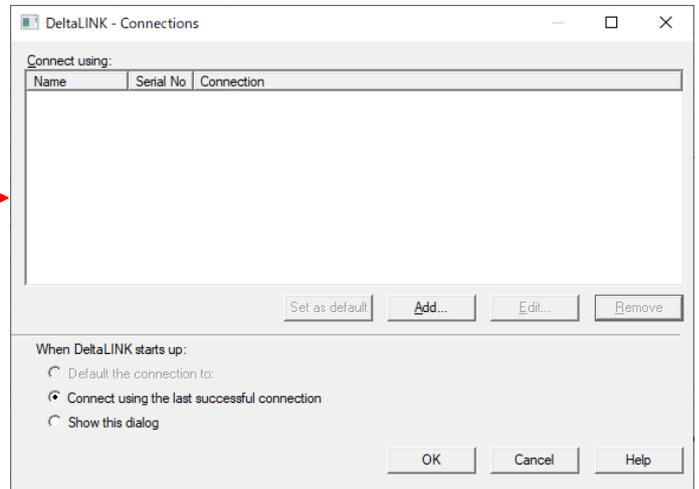
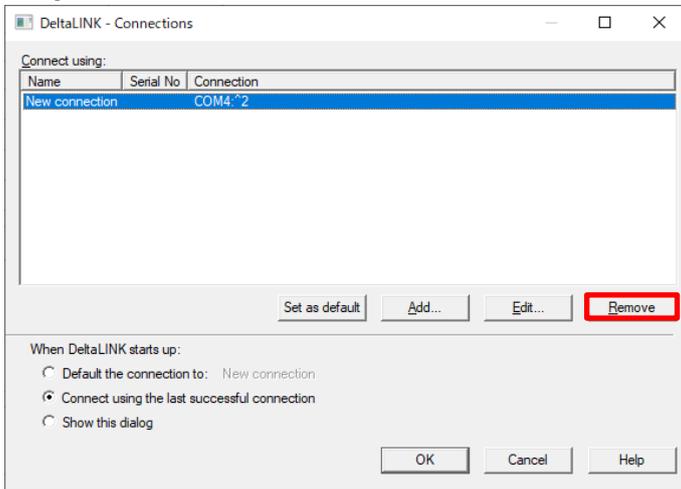
**Step2.**New connectionを選択しOKをクリックします。これだけで解決することもあります。



# Troubleshooting

3.

**Step1.**②で解決しない時はNew connectionを選択した後にRemoveをクリックしてNEW connectionを消します。  
**Step2.**New Connectionが消えた画面になります。



**Step3.**Addをクリック→Connection Propertiesが表示されます。→Detailsタブを選択しCOMが表示されていますのでOKをクリックして完了です。

